

シリーズ 「補綴装置および歯の延命のために」

本号よりシリーズ「補綴装置および歯の延命のために」を連載する。連載をはじめるとあたりその趣旨を記す。

日本補綴歯科学会誌は、日々の補綴治療に活かされる臨床的なトピックスを会員に提供することを目的とし、専門家による総説や依頼論文を掲載している。またポジションペーパーは、歯科医師および患者の間で混乱を招いている補綴治療に着目し、正確な科学的情報を収集した上で、本学会からの統一見解を提言している。これらは補綴治療についての内容が中心である。

一方、補綴装置の予後を確認した臨床研究をみると、補綴装置に起こるトラブルの原因として、直接的には補綴装置の質に関係しないと思われる因子が挙がることは少なくない。時には、この間接的な因子が補綴装置の予後に与える影響が驚くほど高く、直接的な因子よりもその影響力が高い場合もある。今回、編集委員会ではこの事実を考慮してシリーズを組むこととした。

「補綴装置および歯の延命のために」では、補綴装置および歯の予後に影響を与える因子を補綴治療に限らず選定し、その内容について造詣の深い専門家に執筆を依頼する。本企画の第一回として第122回学術大会（2013年5月19日）でのシンポジウム2「垂直破折歯根の接着再植治療」のテーマである歯根破折が適していると考えた。今後、外傷・根尖部病変・歯周治療について展開していく予定である。

本企画が会員の皆様にとって有益なものとなり、ひいては国民の補綴装置および歯の延命につながっていくことを編集委員会として切に願う。

(編集委員会)

シリーズ 「補綴装置および歯の延命のために」

Part 1 破折歯根の治療とその予防策

Part 2 外傷歯の治療と予後

6(2)掲載

Part 3 (仮) 根尖部病変の診断と治療

6(4)掲載予定

Part 4 (仮) 歯周病について

7(1)掲載予定